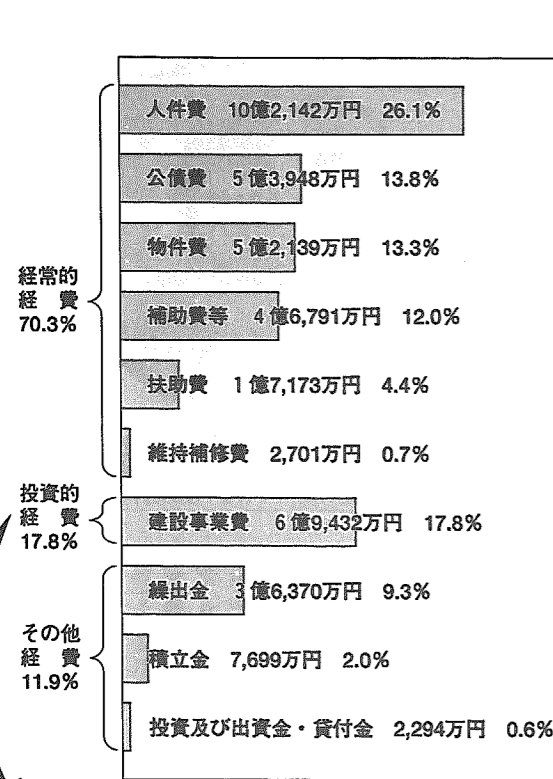


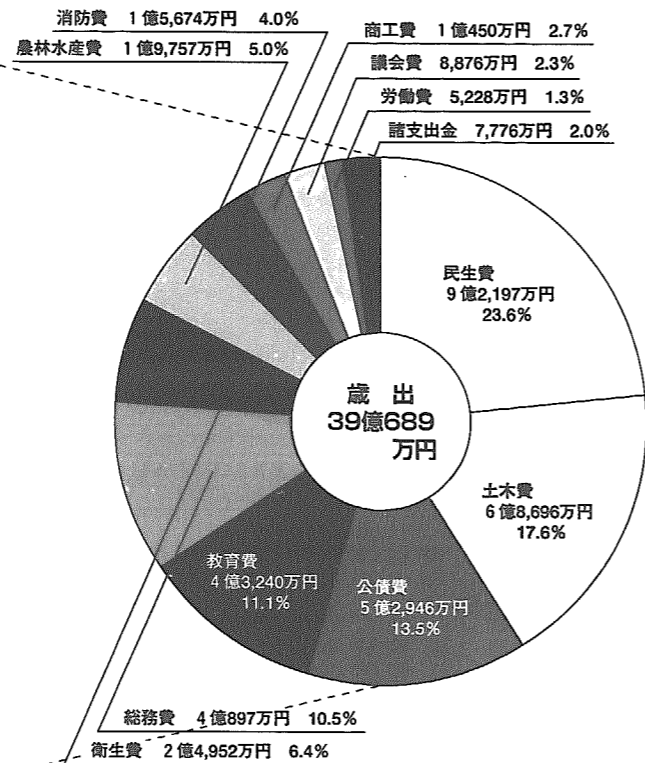
お知らせします 平成11年度 一般会計決算

平成11年度の町のお金がどのように使われ、町の財政がどのように運営されたかを町民のみなさんに知っていただくため、一般会計決算の状況をお知らせします。

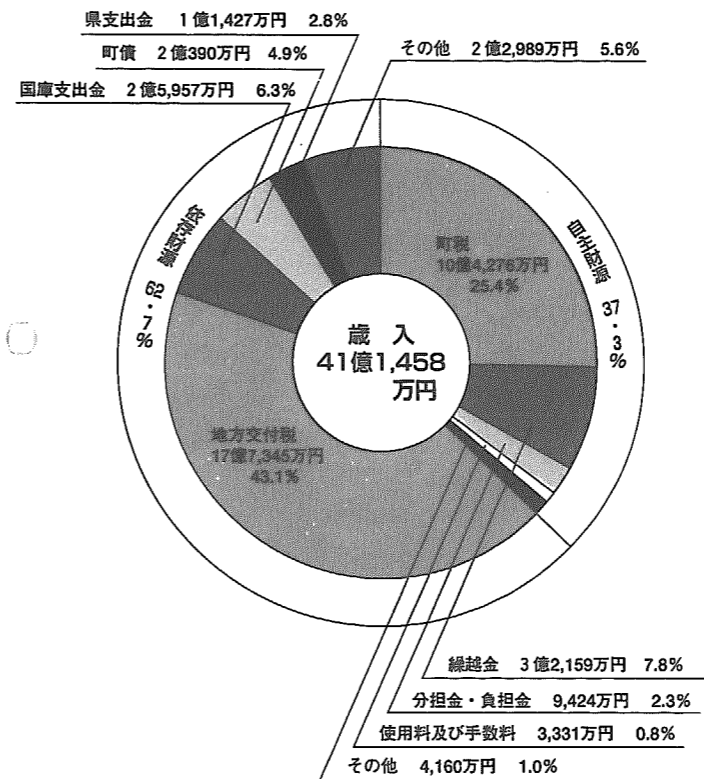
〈表4〉歳出の性質別経費



〈表3〉歳出 39億689万円



〈表1〉歳入 41億1,458万円



〈表5〉投資的経費内訳

・福祉施設建設用地取得	1億2,089万円
・側溝等道路改修、道路舗装工事	1億1,725万円
・街なみ環境整備工事	7,343万円
・二本木地区コミュニティセンター建設	6,934万円
・県道新潟港横越線歩道植栽・照明設置工事	5,698万円
・一般農道整備事業負担金	3,244万円
・県道路事業負担金	3,562万円
・勤労者総合福祉センター建設用地取得	3,049万円
・県営地盤沈下対策・かんがい排水事業等負担金	2,997万円
・横越中央線消雪パイプ設置工事	2,285万円
・横越中央排水ポンプ工事等	1,411万円
・その他（合併処理浄化槽設置等）	9,095万円
合計	6億9,432万円

歳出内訳
 目的別歳出の状況は（表3）のとおりです。主なものとして、民生費では、老人保健施設・特別養護老人ホーム等建設用地取得、デイサービス事業、ホームヘルパー派遣事業、土木費では、県道新潟港横越線歩道修景工事、街なみ環境整備事業、消雪パイプ設置工事、総務費では交通安全対策、教育費では、二本木地区コミュニティセンター建設、コンピューターによる学習事業、衛生費では、合併処理浄化槽設置事業、母子保健対策、農林水産費では、一般農道整備、県営地

盤沈下対策事業等がありました。次に性質別経費（表4）を見ますと、議員や各種行政委員の報酬、職員の給与である人件費、公債費などの経常的経費が70.3%、道路や排水路の整備、建物の建設などの投資的経費は17.8%、その他経費が11.9%となっており、建設事業費の内訳は（表5）のとおりです。
 町ではますます増大する行政需要に対応するため、収支に対する財政状況の把握を行うとともに、税収の確保、予算の効率的な執行により、今後も限られた財源の有効利用に努めます。

歳入内訳

歳入については、（表1）のとおりです。町税、繰越金などの自主財源は、37.3%、これ

に対しては、（表1）のとおりです。町税、繰越金などの自主財源は、37.3%、これ

9月20日から28日まで開催された町議会9月定例会において、平成11年度決算が審査され、認定されました。
 一般会計では、当初予算36億6千万円でスタートしました。その後、6回の補正を行い、決算額は歳入総額41億1,458万円に達し、歳出総額39億6,897万円となりました。
 前年度と比較すると、歳入は約2億9千万円、歳出は約4億円とそれぞれ増加に転じました。

に対しては、（表1）のとおりです。町税、繰越金などの自主財源は、37.3%、これ

平成11年度一般会計決算

■ 町の財産（平成11年度末現在）

- ・土地204,335㎡
- ・建物33,176㎡
- ・基金12億9,836万円

■ 町の借入金残高（平成11年度末現在）

- ・一般会計47億1,184万円

- 町民1人当たりに使ったお金
37万7,138円
(前年度対比 16.4%増)
- 町民1人当たりの借入残高
43万1,883円
(前年度対比 4.2%減)

町税の内訳

町税の内訳	町民1人当たり
固定資産税	5億4,949万円 50,366円
町民税	4億411万円 37,040円
たばこ税	6,233万円 5,713円
軽自動車税	1,802万円 1,652円
特別土地保有税	687万円 630円
鉱産税	194万円 178円
合計	10億4,276万円 95,579円 (前年度対比2.6%増)

〈表2〉町税の収入未済額（滞納額の累積額）

